

ネモフィラ



学年通信の名前が決まりました。『ネモフィラ』。ネモフィラ全体の花言葉は「どこでも成功」「可憐」「あなたを許す」です。愛らしいイメージのネモフィラですが、強い生命力を持ち、多少の日陰やアスファルトの隙間でも、ぐんぐん育っていく丈夫な一面も。そんな特徴から「どこでも成長」という花言葉がつけられたそうです。沢山のネモフィラが寄り添って咲く様子が目が行きがちですが、小さい花びらの中に織りなされる青のグラデーションも美しい花です。この花のように、一人一人が逞しく成長し、他者を許せる人になってくれば…。名前を考えてくれた皆さんありがとうございました…

来週の予定

先週は開校65周年記念式典が執り行われました。戦後15年に開校された訳で、終戦に生まれた人が中学卒業のタイミングでの開校。歴史を感じます。



日	曜	学校行事等	持ち物・提出物
10	月	50×⑥ ①学活(金子T+業) 生活アンケート 歯磨き週間 期末考査1週間前	白衣
11	火	50×⑥	
12	水	50×⑤ 掃除なし (大会前の特別部活動がある場合は再登校16時)	
13	木	50×⑥ 牛乳パック回収	
14	金	50×⑥ ⑥総合(席替え・班編成)	白衣持ち帰り

※ 来週は歯磨き週間です。歯ブラシを持参して歯の健康に努めましょう。

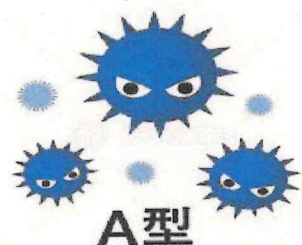
※ 予定にもあるように、来週から試験1週間前になります。朝読書の時間も自習が許可されます。試験勉強に取り組みたい人は、その用意をしてください。ただし、朝読書の時間はスクログを書く時間ではありません。スクログは登校するまでに書いてくる約束です。朝読書は江戸川区全体での取り組みなので、勝手な解釈でルーズにならないように気をつける事。

インフルエンザの感染予防を…

先週は2年生の2クラスでインフルエンザ罹患者が増加し、学級閉鎖や時間的処置が行われました。先週末から1学年でも数人のインフルエンザ罹患者が報告され、週明けには3組で10人弱のインフルエンザ又は同症状がいたため、給食後の下校と学級閉鎖になりました。学年全体でもマスクをしている人が増えた気がします。今年は流行が早まったというニュースが巷に溢れていましたが、松江五中にもインフルエンザの波が来ています。3組だけではなく、他クラスにもインフ

ルエンザで欠席している人がいますから、予防を心掛けてください。何より、うがい・手洗いでしょ。廊下でじゃれ合っている男子…、廊下で手を繋いで寄り添っている女子…特に今は気をつけなさい。試験1週間前で体調を崩してはってことです。ちなみに、学級閉鎖をクラスに伝えた際、机の下でガッツポーズして喜んでいたその男子。まさか遊びに行けるとか思ってないだろうね(ーメ)。自分も今年はインフルエンザの予防接種を受けようと思っています。教員なり立ての時に1回、前任校の東葛西中時代に2回(最初のインフルエンザが治って2週間後に別の型に罹った・・・お医者さんは最短で罹りましたねと驚いていたが)罹った経験があります。どちらも環境の変化があった時に罹っている。教員なりたての時は言わずもがなだが、東葛西中時代は電車通勤をしたことがなかった自分が、教員生活で初めて電車通勤をして免疫力が落ちていたんだと思う。今インフルエンザに罹ってしまうと、実家にいる年寄いた父親にうつしたら大変なことに…。自分自身の為にも、周りにいる人の為にも今一度予防を心掛けましょう。

裏面に続く



65年前の出来事…

冒頭にもお伝えした通り、開校65周年記念式典が行われました。65年も前となると、校舎は木造だったのかなあ？という予想のもと、表面の校舎は木造のイラストにしてみました。自分が生まれる10年近く前の校舎ですから…。自分が通っていた小学校にも、木造の校舎が残っていたので、そんなに的外れではないんじゃないかと思う。さて、65年前と言えば終戦から15年後とは前述した通り。この学校が開校された時代の世界は、日本はいったいどんな時代だったのか…。ちょっと調べてみました。

500円の価値…

1960年（昭和35年）に500円硬貨は存在しません。当時は500円札（岩倉具視が肖像画）が発行されていました。日本で500円硬貨が初めて発行されたのは1982年（昭和57年）です。もし1960年当時の500円が現代でどのくらいの価値に相当するか給与水準で換算すると、昭和35年の貨幣価値は現在の約22倍に相当するとされています。この換算に基づくと、1960年の500円は現在の約11,000円に匹敵する価値があったと考えられます。

60年安保闘争…

1960（昭和35）年、日本は日米安全保障条約の改定問題を巡って混乱が続きました。5月20日の衆議院での強行採決をきっかけに反対運動は一段と盛り上がり、6月15日、全学連（全日本学生自治会総連合）は国会構内になだれ込むなど警官隊と激しく衝突しました。この衝突で東大生、樺美智子さんが死亡したほか学生・警官双方の重軽傷者は数百人にのぼりました。学生たちは警察のトラックに放火し、深夜の国会周辺は凄惨な雰囲気になりましたが、1カ月後、新安保条約は6月19日午前0時、自然承認となりました。この時、同時に結ばれた「日米地位協定」は、「米軍は日本を守るためにいるのだから、行動しやすいようにその地位を尊重しましょう」というものです。これにより、米軍基地が多い沖縄などを中心に様々な問題も起きています。

アフリカの年…

アフリカの年とは、1960年にアフリカ大陸で17カ国が植民地支配から独立を達成したことを指す呼称です。この年は、第二次世界大戦後に活発化したアフリカ各地の独立運動が頂点に達した時期であり、特にフランスの旧植民地13カ国が独立を認められたことが大きな要因でした。当時のイギリス首相ハロルド・マクミランが「変化の風がこの大陸を通じて吹いている」と演説し、独立の動きに反対しない姿勢を示したことも、この動きを後押ししました。1960年に独立した主な国には、カメルーン、ナイジェリア、セネガル、コンゴ共和国（ブラザヴィルおよびキンシャサ）などが挙げられます。これらの国々の独立により、国際社会におけるアフリカの存在感は大きく高まりました。しかし、独立後も民族分布を無視した人為的な国境線による紛争や、インフラの未整備、教育の遅れなど、多くの課題が残されました。また、経済支援を名目とした欧米諸国による間接的な支配（新植民地主義）や、資源に恵まれた国と貧困国の格差拡大といった問題も生じています。「アフリカの年」は、アフリカの脱植民地化の象徴であると同時に、その後のアフリカが直面する複雑な問題の出発点ともなりました。

1960年は現在の天皇、第126代天皇：徳仁、上皇第一皇男子が生まれた年でもあります。天皇陛下とこの学校は同じ年ということになりますね。この年から、日本でもカラーテレビの放送が開始されました。当時の人気番組と言えばプロレス。昔懐かしい、ジャイアント馬場さんとアントニオ猪木さんが台東区立体育館でデビューしたのもこの年です。翌年1961年にはソビエト連邦が史上初の有人宇宙飛行に成功し、宇宙飛行士のユーリ・ガガーリンがいった「地球は青かった」という言葉が生まれました。ちなみに、この年ではありませんが、松江五中の開校記念日の10月20日は江戸時代の蘭学医：杉田玄白と同じ誕生日です。芸能人で言うと、山口智子さん（可愛かったなあ…）や、平野ノラさん（おったまげ〜）も同じ誕生日です。今回は開校65周年ということで、当時の事を振り返ってきました。君達が生まれた当時の出来事を調べてみるのも楽しいかもしれません。ちなみに、自分が生まれた1969年はアメリカが打ち上げたアポロ11号が月面着陸に成功し（本当かどうか様々な検証がありますが…）初めて、月面に人類が立った年だといわれています。